

厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(免疫アレルギー疾患等政策研究事業
(移植医療基盤整備研究分野)))
分担研究報告書

「一般市民への啓発に向けた研究」

研究分担者	小林 順二郎	国立循環器病研究センター	副院長
	福嶋 教偉	国立循環器病研究センター	部長
	市川 肇	国立循環器病研究センター	部長
	秦 広樹	国立循環器病研究センター	医長
	小川 真由子	国立循環器病研究センター	組織移植コーディネーター
	小玉 正太	福岡大学医学部	教授
	服部 理	東京大学医学部附属病院	組織移植コーディネーター
	三瓶 祐次	東京大学医学部附属病院	組織移植コーディネーター
研究協力者	渡邊 和誉	公益財団法人兵庫アイバンク	コーディネーター
	金城 亜哉	福岡大学医学部	組織移植コーディネーター
	今村 友紀	兵庫医科大学	コーディネーター
	岩田 誠司	公益財団法人福岡県メディカルセンター	コーディネーター

研究要旨

本年度、全国的に臓器提供は増加し、臓器提供に伴う組織提供の機会も増加した。国や(公社)日本臓器移植ネットワークが主導してきた啓発活動により臓器移植への認知度は向上し、終末期医療の一つの選択肢としての臓器・組織提供は今後も増加傾向となると推測される。

本研究では、初年度に実施した西日本組織移植ネットワーク活動エリア(大阪府・兵庫県・奈良県・福岡県)における一般市民約 1,000 人を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ、Web 等を通じた啓発を発展させた。

A . 研究目的

日本において、組織移植のための組織とは、日本組織移植学会(以下 JSTT)ガイドライン上、心臓弁・血管、皮膚・骨・靭帯・臍島・羊膜等があり、羊膜以外は心臓停止後(心停止後または脳死下臓器提供時大動脈遮断後)にご家族の承諾のもと提供されている。日本では、組織移植は「臓器の移植に関する法律(臓器移植法)」のガイドラインにおいて許容されるものと明記されているが、法に基づく臓器移植とは一線を画している。臓器提供に関する意思表示カードや免許証・保険証の裏面の意思表示欄においても、組織提供の意思は「その他」に記載する事が出来るとなっているが、組織提供に関する意思表示は項目としては挙げられていない。

本研究の目的は、関連機関と連携した一

般市民への啓発活動の継続実施と併せ、一般市民への啓発に有用なツールに関する知見を収集し、検討の上実施する事である。

B . 研究方法 及び C . 研究結果

(1) 一般啓発活動

本年度、これまでの本研究にて得た知見から、西日本組織移植ネットワークのホームページ(一般市民閲覧可能)の内容を充実させた。(別添資料、)

(2) 本研究結果周知及び情報収集

本研究実施結果の発表のために下記学会に参加し、併せて一般市民への啓発に関する知見を収集した。

・第 29 回 日本脳死・脳蘇生学会

- 2016年6月25日 - 26日
@帝京大学板橋キャンパス
- ・第114回近畿救急医学研究会
2016年7月16日
@大阪国際交流センター
- ・第115回近畿救急医学研究会
2017年3月18日 @奈良県文化会館
- ・第15回日本組織移植学会
2016年8月27日@富山国際会議場
- ・第44回日本救急医学会総会・学術集会
2016年11月17日 - 18日
@グランドプリンスホテル新高輪

上記学会発表については、末尾資料の通りである。上記学会において日本各地域の一般啓発の取り組みに関する知見を収集した。多くの発表において、一般市民への啓発には Web 等を利用した活動が有効であること、またその内容としてはドナー家族やレシピエントの体験談が最も受け入れられやすい傾向がある事が示されていた。これらの結果をもとに、日本における有用な啓発ツール及び内容について検討し、西日本組織移植ネットワークのホームページの充実を図った。

(3) 組織移植の有用性に関する研究及び報告

本年度、下記国際学会ジャーナル紙(Web)において、本研究で実施したアンケート調査結果について発表した。

<https://confman.isodp2015.org/mobis/lecture/315>

上記発表内容については、末尾資料の通りである。

D. 考察

本年度、西日本組織移植ネットワーク(事務局：国立循環器病研究センター)及び国立循環器病研究センターホームページにて、心弁・血管やその他の組織移植に関する情報を更新し、一般市民にも閲覧可能とした。しかし、ドナー家族およびレシピエントからのメッセージについては、更新する事が出来なかった。

今後、一般市民にとって、自分自身の事として臓器・組織提供、移植を考え意思表示をするきっかけがより重要である。その一つとして組織移植の有用性に関する情報に加え、ドナー家族やレシピエントからのメッセージが果たす意義は大きいと推測される。これを踏まえ、国立循環器病研究センターを先行としてドナー家族やレシピエントの体験談や現在の様子の掲載を通じた啓発について検討を進めた。

E. 結論

各学会等における、昨年度実施アンケート結果の公表や、これまでの各関連機関との連携継続・深化により、本年度ドナー情報数、提供件数は増加傾向となった。意思表示カードに「すべて」と記載されていた症例もあり、一般市民においても組織提供が認知されつつある傾向が示唆された。

今後は、Web 等を用いた組織移植の有用性に関する情報発信、ドナー家族やレシピエントからのメッセージの公開等を通じたより有用な啓発を発展させることが必要である。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

・M. Ogawa, T. Fujita, N. Fukushima, T. Nakatani, S. Kitamiura, Y. Imamura, K. Watanabe, S. Iwata, and A. Kinjo: Regional Survey of Tissue Donation Among the General Public and Medical Staffs Around Osaka, Japan. Transplantation Proceedings, 48, 2423e2428. 2016

2. 学会発表

・小川 真由子、東井 英二、福嶋 教偉、藤田 知之、今村 友紀、渡邊 和誉、岩田 誠司、金城 亜哉、小林 順二郎、北村 惣一郎・脳死下臓器提供時における組織提供活動域の拡大に向けた施策について・第29回日本脳死・脳蘇生学会学術集会・2016・Vol.29/No.1

・小川 真由子、東井 英二、福嶋 教偉、藤田 知之、今村 友紀、渡邊 和誉、岩田 誠司、金城 亜哉、小林 順二郎、北村 惣一郎・近畿における組織提供 現状とこれからの課題 ・2016・第114回近畿救急医学研究会・2016

・小川 真由子、福嶋 教偉、藤田 知之、今村 友紀、渡邊 和誉、岩田 誠司、金城 亜哉、小林 順二郎、北村 惣一郎・組織移植普及のための取り組み：西日本組織移植ネットワークニュースレター・第15回日本組織移植学会学術集会・2016・Vol.15/No.1

・小川 真由子、福嶋 教偉、藤田 知之、今村 友紀、渡邊 和誉、岩田 誠司、金城 亜哉、小林 順二郎、北村 惣一郎・西日本における脳死下臓器提供時における組織提供活動域の拡大に向けた取り組み・第15回日本組織移植学会学術集会・2016・Vol.15/No.1

・小川 真由子、福嶋 教偉、藤田 知之、今村 友紀、渡邊 和誉、岩田 誠司、金城 亜哉、小林 順二郎、北村 惣一郎・西日本に

おける組織提供・第44回日本救急医学会学術集会・2016・Vol.27/No.9

・小川 真由子、福嶋 教偉、藤田 知之、市川 肇、小林 順二郎、北村 惣一郎、服部 理、三瓶 裕次、長島 清香、益澤 明広、田村 純人、小野 稔・胸部外科医を対象とした組織移植に関するアンケートの実施及び体制構築の検討・第41回日本心臓血管外科学会・2017・2

・東田 昭彦、帆足 孝也、鍵崎 康治、島田 勝利、白石 公、藤田 知之、市川 肇・同種肺動脈弁パッチを使用した、Norwood 型大動脈弓再建の治療成績・第41回日本心臓血管外科学会・2017・2

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし